

## 学校環境衛生検査票「換気及び保温等」

学 校 名				天候		
学校担当職員氏名			学校薬剤師氏名			
検 査 日 時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分					
測 定 場 所	普通教室 ・ その他 ( )					
教 室 名 称						
教 室 位 置	棟 階					
教 室 容 積	m <sup>3</sup> (縦 m×横 m×高さ m)					
在 室 人 員	人 (児童生徒 人、教職員・検査員 人)		授業の内容			
窓 の 開 放 状 況	廊下側	全開・一部開・閉		天 窓 の 開 放 状 況	廊下側	全開・一部開・閉
	外気側	全開・一部開・閉			外気側	全開・一部開・閉
冷・暖房機の状況	有 (恒常的に稼働・随時稼働) ・ 無			種 類	エアコン・他 ( )	
	燃焼機器の使用	有 ( ) ・ 無			灯油・ガス・他 ( )	
項 目	測 定 結 果			外 気	基 準	
温 度	℃			℃	17~28℃であることが望ましい	
相 対 湿 度	%			%	30~80%であることが望ましい	
換 気 (二酸化炭素)  ①始業時 ②15分後 ③30分後 ④終業時  1回の測定の場合 は④に記入	①	ppm		/	1,500ppm以下である ことが望ましい  (外気は400ppm程度)	
	②	ppm				
	③	ppm				
	④	ppm				
浮遊粉じん <sup>※1</sup>	mg/m <sup>3</sup> ・ 省略			年 月 日測定 ( mg/m <sup>3</sup> )	0.10mg/m <sup>3</sup> 以下	
気 流 <sup>※2</sup>	m/秒			/	0.5m/秒以下である ことが望ましい	
一酸化炭素 <sup>※3</sup>	ppm				10ppm以下	
二酸化窒素 <sup>※3</sup>	ppm				0.06ppm以下である ことが望ましい	
<sup>※1</sup> 温・湿度、又は流量を調整する機器の使用時に測定するが、検査の結果が基準値の1/2を下回る場合には次回省略可。 <sup>※2</sup> 温・湿度、又は流量を調整する機器の使用時に測定する。 <sup>※3</sup> 燃焼器具を使用していない場合に限り、省略できる。						
所見欄						